

令和4年度 授業以外の学修（学習）時間に関する調査【全体概要】

I. 授業以外での学修行動について

歯科衛生学科1～3年次の授業以外での学修行動を図1に示した。

授業以外での学修行動は、全体的に前後期の開始時より終了時の方が、学修時間が多かった。終了時は定期試験の影響が大きい。学習内容は、「授業の予習・復習」、「小テストや定期試験・演習試験・卒業試験等のための試験勉強」、「クラスメートと勉強したり、授業内容について話した」、「スマートフォンでの調べもの、パソコン教室での学修をした」の4項目が多かった。一方、「情報図書館および分室での自己学修（学習）」、「通学の電車やバスの中での学修（学習）」の2項目は少なかった。

また1年次より2年次は、前後期の開始時と終了時の差が大きかった。普段は予習・復習をせず、定期試験前に学修を始めるパターンになっていると考えられる。したがって、「単位取得のための最低限の勉強はするが、それ以上はやらない」という傾向が2年次で見られる。一方、3年次はどの期間でも学修をしているものが多い。これは毎月の国家試験対策のテストの影響によるものと考えられる。「通学の電車やバスの中での学修（学習）」は1年次と2年次よりも少なかった。3年次は移動時間に勉強以外の事をしていると考えられる。

II. この1週間の授業以外の学修をした時間について

歯科衛生学科1～3年次の1週間の学修時間を図2に示した。

前期開始時では、1年次と2年次はどの曜日でも「全くしない」が多かった。3年次は平日に「1～2時間未満」学修をしているものが最も多かったが、土日では「全くしない」が多かった。

前期終了時は、定期試験の影響で1年次と2年次はどの曜日でも学修をしていた。1年次は2年次よりも学修時間が多かった。1年次は初めての定期試験であるため、学修時間が長いと考える。一方、3年次は前期開始時と同様の結果だった。

後期開始時では、1年次と2年次は前期開始時と同様の結果だった。一方、3年次は、「1～2時間未満」学修をしているものが最も多かったが、平日に「全くしない」が増加し、土日の学修時間が増加した。

後期終了時では、すべての学年がどの曜日でも学修をしていた。

III. まとめ

今回の学修状況の調査結果をみると、概ね下記の通りである。

1. 本学学生は、1年次は、予習・復習を行っているが、2年次になると「単位取得のための最低限の勉強はするが、それ以上はやらない」という傾向がみられる。
2. 3年次は、授業以外の学修時間は1, 2年次よりも多いのは、国家試験対策のためと考えられる。また前期の土日は全く学修しないけれども、国家試験が迫ってくると学修している。
3. 教員への質問よりスマホやPCで調べる傾向で、図書館などで学修する学生は少ない。

当面の提言として、授業以外での学修行動や学修時間は、勉強の習慣づけであり、一朝一夕にはできない。「最低限の勉強はするが、それ以上はやらない」という傾向は、誰にでも見られることである。各講義科目で小テスト等を行って学修する機会や動機付けが必要であろう。

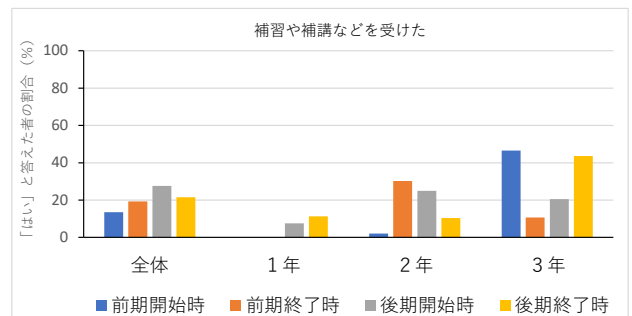
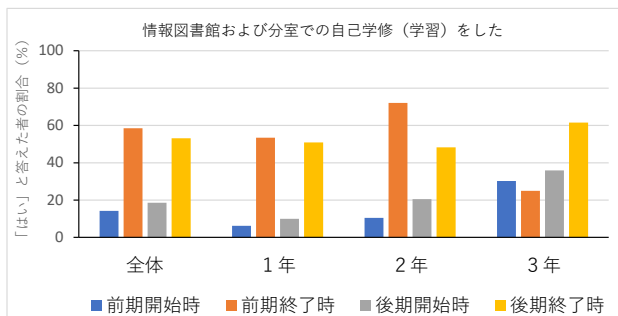
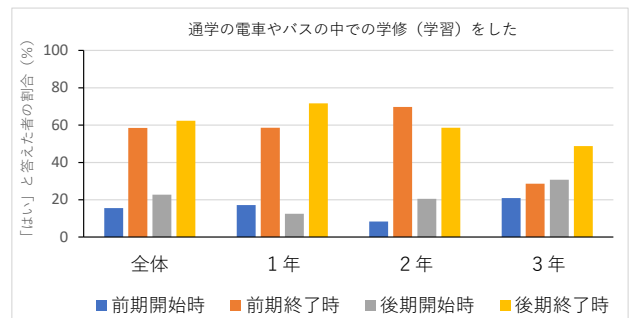
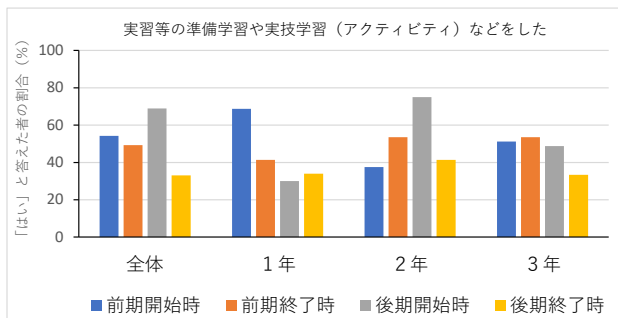
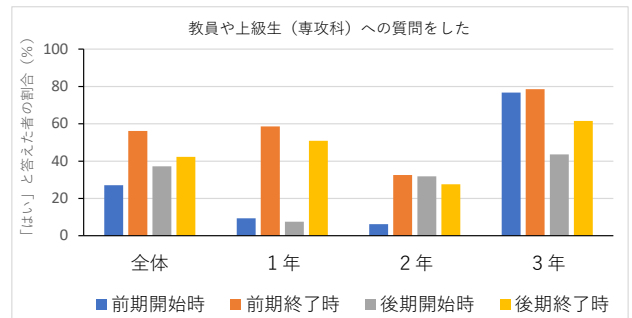
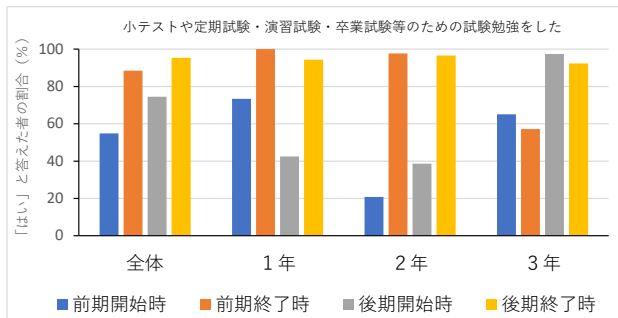
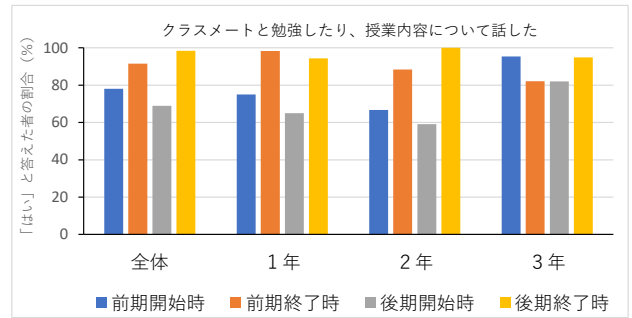
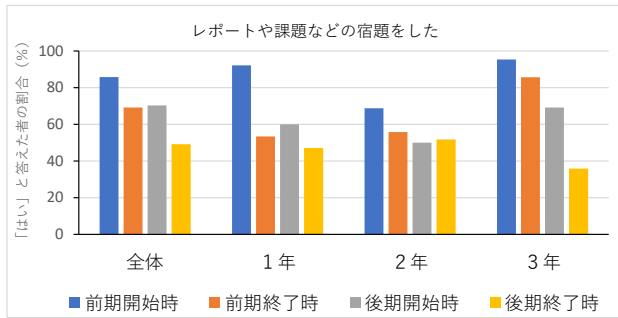
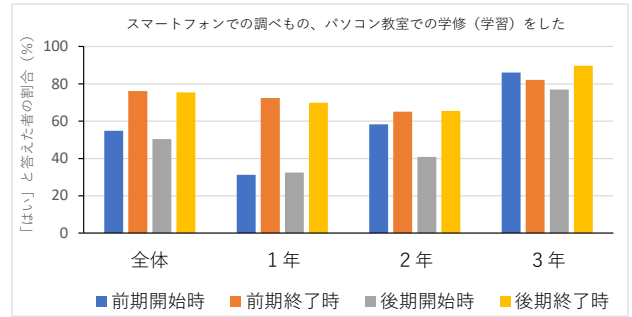
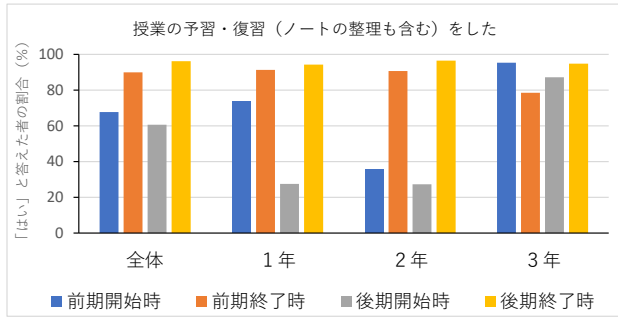
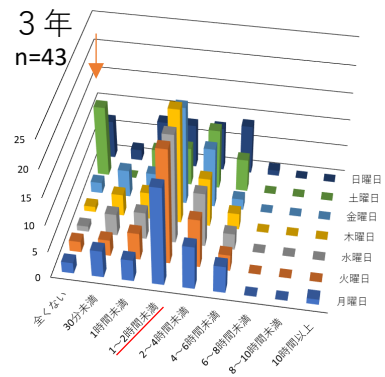
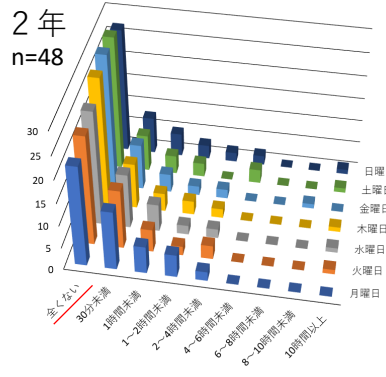
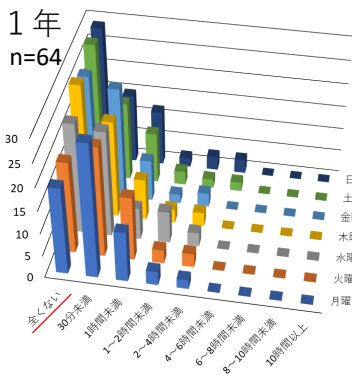
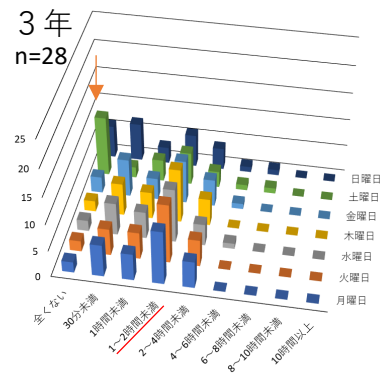
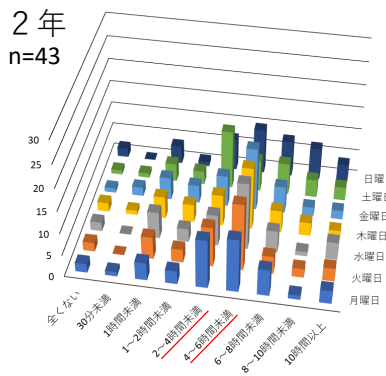
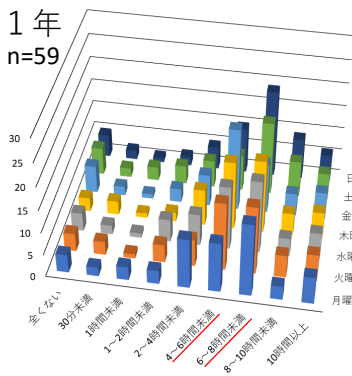


図1 授業以外の学修行動

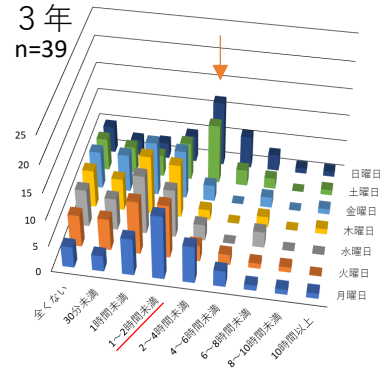
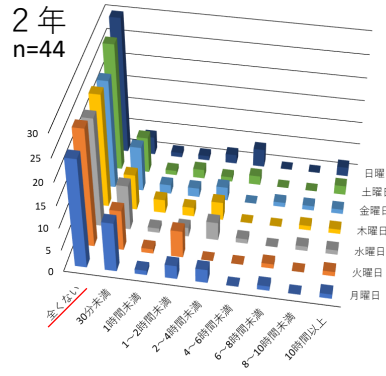
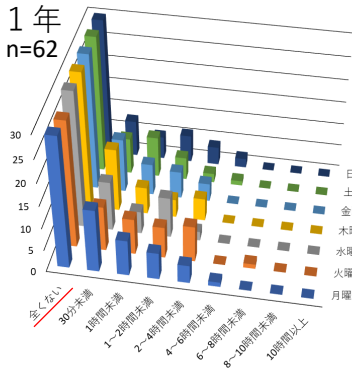
前期開始時



前期終了時



後期開始時



後期終了時

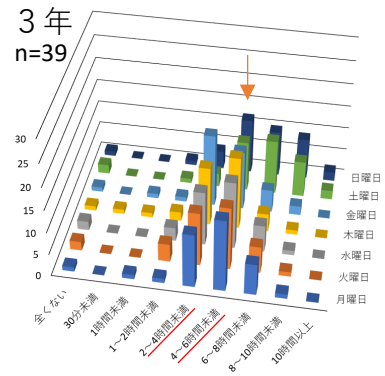
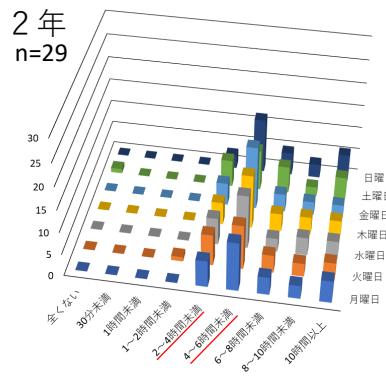
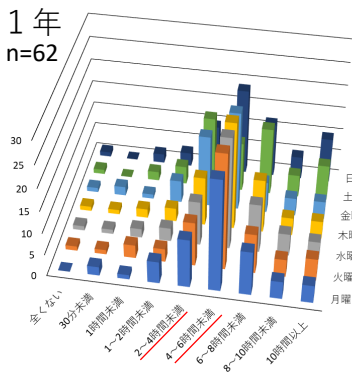


図2 の1週間の授業以外の学修をした時間